

兵庫県

斎藤県政本当はどうなの ファクトチェック



Part 1 知事問題

斎藤知事——3つの不法・不当行為

兵庫県議会は、地方自治法にもとづき、斎藤元彦兵庫県知事の違法疑惑への告発文書を調査する百条委員会を設置、第三者調査委員会も設置されて調査が行われ、2025年3月に報告書を提出。斎藤知事の不法・不当行為をあきらかにしました。

 百条委員会、第三者調査委員会は、斎藤知事が、公益通報者保護法で禁じられている告発者探索、告発者不利益扱いなどを行っていたことを指摘。告発者の名誉回復などの措置を求めている。

 第三者調査委員会は、知事の10の行為についてパワハラと断じた。しかし、当事者に対し、きちんとした謝罪は行われておらず、コミュニケーション不足などと指摘されたことについて、改善ははかられていない。

 第三者調査特別委員会報告では、県職員が、告発者の個人情報漏洩は、「知事の指示による可能性が高い」とした。当然、知事の責任が問われなければならないが、知事は認めることも、反省もしない。

——法律を守らないどころか、自らの保身のために、告発者を貶める行為を行い、不法・不当な行為を認めず、反省もしない。このような斎藤元彦氏は、知事としての資質も資格も失っていると言わざるを得ず、辞職するしかありません。



Part 2 齋藤知事は改革者なの？

ファクトチェック



知事選挙のさなか、「改革をすすめる齋藤知事」などの言説がとびかいました。本当にそのなのでしょうか、言説についてのファクトチェックをおこないます。

Q 齋藤知事になって高校のトイレが改修された？

A 高校のトイレが改修されるようになったのは、齋藤知事になってからではありません。

県民の要望と議会などでの論戦を通じて、2016年3月に県が策定した「県立学校施設管理計画」にもとづき、2017年より順次改修がすすめられ、23年度までに全154校が完了しました。県民の声が実現させた要望ですね。ちなみに避難所になっている体育館のエアコンについては、国のメニューに基づき、順次行われていますが、兵庫県の空調設置率は、全国平均14.0%に対し、11.0%（24年9月・文科省）。全国的に見ても低い水準です。地球温暖化により命にかかる危険な高温になるなか、一刻の猶予もゆるされません。

Q 齋藤知事が港湾利権にメスを入れた？

A いいえ。齋藤知事が包括外部監査から、「港湾事業において不正常な運営がなされているから、ただすべきだ」と指摘されただけです。2023年3月に公表された監査結果によると、兵庫県の外郭団体「ひょうご埠頭」に対して、県から港湾施設の使用許可を受けるさいに大幅な減免を受ける一方、転貸しした民間からは使用料を満額徴収しており、その差額分、約15億円ものため込みが行われていると指摘されました。県は15億円のため込み金で、港湾施設の補修などを行うよう確認しましたが、2024年3月引き続き、姫路港、尼崎西宮芦屋港の運営指定管理者として任命しているように、県にも齋藤知事にも反省は見られません。



Q 播磨臨海地域道路ルート変更でコストカットした？

A いいえ。播磨臨海地域道路計画の現在のルート案は、齋藤氏が知事就任前の2020年11月に4ルート案から国土交通省が決定したもの。このルート案では、当初総事業費5900億円かかるとされていましたが、その後の物価上昇など見ても、1兆円は下らず、県当局は「どのくらいかかるかわからないので、いま額は言えない」との見解を示しています。問題なのは、この現行ルート案そのもの。このルートでは、加古川、高砂、姫路、稻美などでは、住宅地、学校など文教施設の真上をとおり、トンネルを掘る計画となっている的形地域では、セトウチサンショウウオ等の希少種がいる森を削り、土砂災害の危険も高まるなど住民の不安が大きく広がっています。齋藤知事がすすめるこの計画そのものが大問題です。



Q 県庁舎を1000億かけて建て替えようとしていたのを齋藤さんが止めた？

A 1000億円かけて県庁舎を建て替えようとしていたというのがそもそもデマ。

耐震基準を満たさないという理由で建て替えが必要と判断されましたが、2019年度策定の県庁舎等再整備基本構想には、約700億円とされていました。齋藤知事はその計画を中止し県庁舎1、2号館を解体・撤去、職員は近隣の関連施設に4割のみ出勤すればよいという方針を示しましたが、職員からは批判が殺到。方針は見直され、すべての職員が配置につける最低限の県庁舎の再整備が検討されています。



Part 3 県政の実態



斎藤知事は、改革をおしすすめるどころか、今でも全国2位の高速道路網なのに、大企業・産業界の要望で播磨臨海地域道路計画を6000億円以上かけてすすめています。一方で、県立高校統廃合により、一気に8校の高校を削減。これまでの医療・保健分野の削減路線は引継ぎ、病院統廃合をおしすすめ、斎藤知事就任後では、1439床もの急性期病床を削減、保健所は17カ所に削減されたままです。

これが斎藤県政のすすめる兵庫県の実態

病院統廃合・病床削減

●急性期病床数



●保健所も削減



県立高校統廃合

●統廃合数



●2025年度募集停止した県立高校

神戸北、伊川谷、西宮甲山、三木北、
吉川、網干、家島、夢前



不要不急の高速道路建設

●高速道路の総延長

(2021年度・全国道路街路交通情報調査)

全国2位



●播磨臨海地域道路

環境壊して、民家や学校に立ち退き迫る

1m約1875万円かかる

約6000億



ゼネコン優先

県民のくらしは最低クラス

●財政力指数

10位

●介護老人福祉施設数

40位(65歳以上人口あたり)

●保健師数

41位(人口あたり)

●教育費

46位(都道府県財政割合)

●高校数

38位(15~17歳人口)

●図書館数

43位(人口あたり)

●県内就業者比率

43位(対就業者)

●消防ポンプ車数

39位(人口当たり)

●実収入

44位

出典—統計でみる都道府県のすがた 2025

教育に冷たい

Part 4 私たちの県政マニュフェストを

日本共産党兵庫県委員会も参加する「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」の政策を紹介します。



私たちの兵庫県政マニュフェストをつくりましょう

仕事と
雇用を守る

いのちを
守る

ジェンダー平等
つらぬく

子育て応援
教育を守る

戦争しない国
平和を守る

自然環境
災害対策

中小企業を支援して

最低賃金時給1500円以上に

- 賃上げ・正規雇用を進める中小企業を支援

農林水産業への支援充実で地域を支える

2025年最低賃金

兵庫県 1116円

大阪府 1177円

神奈川県 1225円

医療・介護体制の充実

病床削減・病院統廃合ストップ

国保・介護保険料引き下げ

- 医療・介護労働者の待遇改善

- 訪問介護事業所など在宅介護施設の事業を支える

- 保健師を増やして保健所体制を強化

男女賃金格差の是正

兵庫県は 76.3% 全国 22 位

DV 被害支援を充実

- 「ジェンダー平等推進課」をつくり多様な生き方を尊重する県政に

- ひとり親家庭支援を拡充

- 人権尊重の性教育を充実

学校給食費ゼロ

子育て支援3つのゼロ

兵庫県一般会計予算（2025年度）の0.6%で実現できます

18歳まで医療費ゼロ 2歳まで保育料ゼロ

- 高校の無償化、大学・専門学校の授業料軽減・無償化

- 県独自で返済不要の奨学金制度創設

小中高の30人学級を



「核兵器禁止条約」参加を国に求める

近隣諸国の自治体と協力、平和な北東アジアづくりを

石炭火力発電全廃

- 原発ゼロ・石炭火力発電全廃、省エネ、再生可能エネルギー転換でCO2削減

災害対策の強化

- 南海トラフ地震など自然災害から命と財産を守る

全国5位の兵庫県政予算をいかします

齋藤知事のすすめる県政は、従来の大企業・財界の大型開発を優先し、

教育や福祉・医療を切り捨ててきた県政となんら変わりありません。

齋藤県政にかわる新しい県政を私たちの手でつくりましょう。

みなさんのご意見・提案をお聞かせください。(info@jcpjh.org) または→

